

第 69 号

令和 6 年 4 月 15 日発行
森山地区社会福祉協議会
諫早市森山町本村 1300
TEL. 0957-36-0889

地区社協だより もりやま



唐比展望公園

世代を超えて新たなレクリエーションを楽しむ 高齢者と子どもの集い 第1回ふれあいモルック大会

4年間の中断を経て世代間交流事業が復活しました。これまで18回開催したグラウンドゴルフ大会は、コロナ禍もあり老人クラブ、子ども会による地区別チーム編成が困難になり中止して、その在り方を検討していたものです。



モルックって簡単で楽しい

今年度の世代間交流事業は、「第1回ふれあいモルック大会」として森山公民館で1月29日開催。モルックは、年齢・性別を問わず楽しめる簡単な軽スポーツで、当日は老人クラブ、子ども会、保護者、約90人が世代を超えて声を掛け合い、なごやかにゲームに興じていました。

地域医療の現場から ～入院したらどうなるの～ 介護医療院、医療ソーシャルワーカー、リハビリを学ぶ

諫早市内の医療法人裕里会「姉川病院」の医療スタッフを講師に招いて「地域医療の現場から」をテーマに地域福祉セミナーを2月9日に開催しました。約50人の出席者は、初めて聞く「介護医療院」「医療ソーシャルワーカー」に高い関心を寄せられ、終始熱心に受講されました。

今回のセミナーでは、出席者からは「介護医療院という施設を初めて知った」「すべてが参考になった。参加して良かった」との声がありました。「入院したらどうなるの」と医療現場の事例を交えた研修に、誰もが経験する入院について改めて考える機会となりました。



家族が入院！どうしよう・・・

心をこめたお弁当を届けました ひとり暮らしの高齢者へ食事サービス

高齢者の皆さんに届けた手作り弁当（食事）は、今年も好評でした。2月18日、早朝から森山公民館に集まって食生活改善推進協議会会員が調理を担当し、民生委員・児童委員がパック詰めと配達役割分担。



みんなで配膳作業

食生活改善グループ皆さんが前日から下ごしらえした森山産食材をメインとした弁当は、ボリュームたっぷり弁当にできあがりしました。

お届け先からは「ありがとう」と感謝され、「お越しが美味しかった」「量が多くて2回に分けて食べた」「旨かった」との声をいただきました。お弁当で温かい気持ちになった1日でした。

なぜこんな山のなかに可愛いトイレ 第1回すずめのおやど物語

《地域の宝 森山東小学校 通学用トイレの生い立ち》

なぜこんな山の中に可愛いトイレがあるのだろうか。田尻地区から森山東小学校への通学路、通称「すずめごろし」の入口に設置されているトイレ「すずめのおやど」。2003年（平成15年）に設置されてから20年が経過しました。トイレは桜に囲まれ朝夕、子ども達の通学を見守っています。森山の隠れた宝ともいえる「すずめのおやど」の誕生からこれまでの歩みを振り返ります。



すずめのおやど 2024春

その1 トイレの生い立ち

通学する田尻地区の子ども達は、通称「すずめごろし」という峠道を歩きます。遠距離通学の子ども達にとって、通学路沿いのトイレが永年の課題で、地域の方のなかには「よっといれ」と自宅トイレを開放してくださる方もいました。

このような課題を解決するために2001年（平成13年）、地域住民・保護者・学校・自治会で設置に向けて協議が開始されました。協議の過程では、設置には賛同するも安全面・管理面で危惧する意見が多く、5K（臭い、汚い、暗い、怖い、壊される）の懸念の声がありました。



トイレ全景 2024

関係者で協議を重ねた結果、下記の視点で設置するに至り、設計は公共トイレ設計の第一人者である小林純子氏（東京 設計事務所 ゴンドラ代表）に委託して、2002年2月（平成14年）に着工を決定。

○子ども達にとって安全で楽しい道であるために
見守る大人の目が必要
○トイレは、子ども達にとって「何かあった時」駆け込める場所であって欲しい

小林氏と子ども

達は通学路を歩きながら設置場所を選定しました。設置場所は、通学路の中間付近で周囲は山林と畑が広がり、傍には小川が流れています。道路を通行される人や近隣住民からも見渡せます。

その2 子ども達も参加したトイレづくり

2002年（平成14年）10月に設計が完成。トイレは「お母さんの傘」をイメージしてトイレや雨宿りに駆け込めるような大きな傘のデザインとなりました。トイレの内部と外部はタイル貼りとして、掃除がしやすい設計。子ども達が1枚1枚描いた図案を長谷武雄氏（唐比 長谷川陶磁器工房）がタイルに焼き付けてくださいました。

また、トイレのネーミングは子ども達の発案で「すずめ



私たちのトイレ（設置当時の子ども達）

のおやど」に決定しました。



トイレの看板プレート

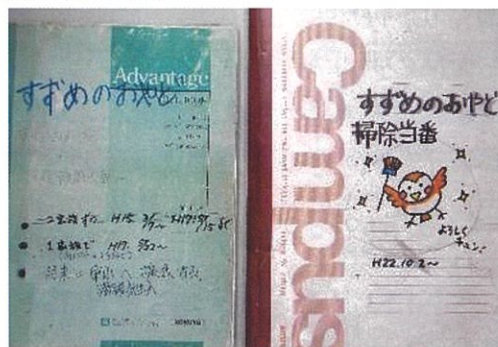
2003年2月（平成15年）トイレが完成。設計者の小林純子氏は「造るのは簡単、造ったあとが大切だ」と維持管理活動の重要性を強調されました。その理念は、今日まで山里の小さなトイレで連綿と受け継がれています。

その3 トイレを守る人たち

トイレの清掃活動は、田尻地区の児童と保護者による当番制で行うことになり、毎週1回、親子でトイレ内部、周辺を清掃して、その内容を「すずめのおやど掃除ノート」に記録して次の当番にリレーします。ノートは、毎月、学校に報告して学校長はコメントを記入して保護者へ返却します。いわば学校と地域との「トイレ交換ノート」が始まりました。

また、地域の有志は草刈り機でトイレ周りの雑草を整備する光景も見られました。敷地内のプランターには、季節の花が咲いています。春には桜が咲き誇り、夏には濃い緑陰が涼みの空間となります。トイレ内の備品は、諫早市から定期的に点検補充されます。

こうして20年間、「すずめのおやど」は、児童・保護者・学校・地域・行政が一体となつてごく自然体で安全で清潔なトイレが守られてきました。



トイレ掃除ノート

その4 清掃活動にみる親子のふれあい

清掃活動は、親子の共同作業であり、ふれあいの時間となっています。子ども達にとっては、トイレ清掃は社会貢献活動の第一歩であり教育的側面からも意義あるものです。

清掃は、トイレの室内から周りの床のモップかけ、草取り、生い茂る雑草にはお父さんの草刈機の出番もあります。また、すずめのおやどは、保護者と子どもとの待ち合わせポイントでもあり、低学年の子どもを出迎えるおばあちゃんやお母さんの姿も良く見られました。卒業生はここで出迎えてくれたお母さんのこと、下校時に桜の下で遊んだこと、一緒に掃除した日のことを決して忘れないことでしょう。



子「暑かあ・・・アイスが欲しい。」
母「もうひといき、がんばって。」

【第2回すずめのおやど物語は、第70号に予定】

どこへ巣立っても皆さんのふるさとは森山

市立森山中学校、森山東小学校、西小学校の卒業生へのエール

町内の中学校・小学校の卒業式が保護者や関係者が見守るなかで3月13日、14日にそれぞれ挙行されました。森山中学校40人、森山東小学校17人、森山西小学校33人の卒業生が新たな門出。この春、卒業式を迎えた生徒・児童の皆さんは、コロナ禍のなかでさまざまな活動が制限され、運動会や修学旅行なども縮小された学校生活でした。

卒業式では、一人ひとり胸を張り、堂々と卒業証書を受け取っていました。見守る保護者は熱い眼差しでわが子の成長に目を細めていました。出席した関係者は、各校とも厳粛で心に残る感動的な卒業式だったと語ってくれました。

卒業生の皆さんは、進路はそれぞれ異なりますが、国内にとどまらず海外にも目を向けられ勉学・スポーツに励んでください。どこに巣立って行かれても皆さんのふるさとは森山です。地域の皆さんは、いつも応援しています。



校長先生から卒業証書を授与

ふれあいいきいきサロンは、活動が復活傾向へ

「唐比西の会（唐比）」 「よろう会（下井牟田）」が新たに発足

ふれあいいきいきサロンは、地域で「楽しく、気軽に、無理なく」過ごせる場。森山地区のサロンは、令和5年度は13か所で65歳から最高齢は98歳まで、約1,500人の皆さんがいきがいづくり、健康づくりの場として楽しく過ごされました。新型コロナウイルス感染症が5類へ移行後、活動も復活の兆しが顕著になっています。

また、令和5年12月から「唐比西の会」（唐比 佐藤悦子代表）が設立され、「喜集会」（本村 田原純子代表）には、男性会員15名が参加して新たな活動が期待されています。

さらに4月からは「よろう会」（下井牟田 江嶋美代子代表）が発足します。サロンは、地域の「やすらぎの場」として定着化しています。これから立ち上げを検討されたいグループ、活動に関するご相談は地区社協までご連絡ください。

令和5年度 ふれあいいきいきサロン活動状況

	サロン数	開催回数	利用者 (延人数)	ボランティア (延人数)
令和元年度	14	235	2,118	335
令和4年度	12	170	979	306
令和5年度	13	188	1,517	311

*令和元年度は、コロナ禍前の活動状況

残しておきたい 森山のあの日 あの頃

戦時下の農繁期託児所



田尻名農繁期託児所(昭和15年夏か) 写真提供：西村清貴氏(田尻)

1941年(昭和16年)5月、森山村は戦地の出征兵士に郷里のアルバムを作成して送りました。当時の村長は片田江駒太郎氏。

アルバムの中に万国旗が飾られた「農繁期託児所」の写真がありました。大人4人は、お世話係か保育士か。写真の様子から田植時期に撮影されたものと予想します。当時、村では助け合い組織として託児所が設置されていたことに驚く。

森山地区社協総会のお知らせ
日時 令和6年5月22日(水)
午後7時から
会場 森山公民館

《一般寄付》
◎森山中学校第12回卒業生一同様

◎下井牟田 土井 峰子様
【亡夫 年三様】
◎本 村 八木繁男様
【亡母 茂子様】
◎上井牟田 古賀アサ子様
【亡夫 隆様】

《香典返し》

ご寄付ありがとうございました
左記の方々からご厚意による寄付金をいただきました。
寄付金は、自治会福祉活動助成等、森山地域の福祉事業に大切に使用させていただきます。
令和6年1月1日～3月31日受付